



愛は

すべての中にあってひとつ

ひとつであってすべて

真っ赤な愛

淡いピンク色の愛

白くまっすぐな愛

葉擦れの風のような緑の愛

オレンジの明るい愛

元気が出る黄色い愛

水色の透明な愛

ラベンダー色に包む愛

抜けるような空の色の愛

はっとする朱色の愛

泡立つ海の色深い愛

そして

陽を受けて金色にきらめく愛

すべて

すべてが愛であり

愛と気づいた瞬間

すべてはひとつとつながる

本来の姿となる



それらはひとつから生まれ

ひとつに還り

愛は愛を生み

愛は育みながら 愛を見守り

愛の恩恵を受け

愛そのものとなり

自らも愛の波動を伝え続ける

愛は伝えるものとなって

さらに愛を広げ

その翼を広げながら愛の風を送り

愛に満たされて世界は輝く



宇宙は愛であふれ

愛の宇宙となり

愛の地球として 光を発する

受けていたものに気づいたとき

幸せとともにそのものとなって伝えている

そこに考えはなく

ただ愛の心だけがある

光だけがある

愛はすべての中にあってひとつ

ひとつであってすべて

わたしたちすべてが愛の光そのものであり

人も 動物も 植物も 鉱物も . . .

それぞれの愛で

ひとつの地球を創っている

地球はそのように愛の光を発している

そして地球もまた

愛の宇宙のひとつとなる

* 貴 *

